



死別の痛みから 歩み出そうとするあなたへ

大切な方の「死」は、
私に何を問いかけているのでしょうか。
それは、亡き人を案ずる私が、
実は案ぜられていたという事実です。
そのことを尊い「いのち」をもって
教えてくれたのが、その大切な方です。
いのちの歴史をさかのぼれば、
ご先祖からのいのちのバトンを受けて
「いま」を生きている私。
ご本尊に手を合わせて、亡き人を偲びつつ、
人生を見つめなおす生活を始めてみませんか。